

第48期（2025年3月期） 第2四半期決算補足資料



STANDARD
TOKYO

アズマハウス株式会社

2024年11月14日

会社概要

会社名	アズマハウス株式会社
英訳名	AZUMA HOUSE Co., Ltd.
設立	1977年（昭和52年）5月2日
代表者	代表取締役社長 東 行男
本社所在地	和歌山県和歌山市黒田一丁目2番17号
従業員数	195名（連結285名）
資本金	5億9,676万円
取引所	東京証券取引所スタンダード市場（証券コード：3293）
株主数	3,466名（2024年9月30日現在） 発行済株式数 8,063,400株（2024年9月30日現在）
単元株数	100株 基準日 3月31日・9月30日
事業内容	不動産業、不動産賃貸業、建設業、ホテル業、飲食業、保険代理店業
連結会社	株式会社賃貸住宅センター、株式会社シージェーシー管理センター、株式会社アイワライフネット、こうこく不動産株式会社



社長挨拶（トップコメント）

当社グループにおける第48期（2025年3月期）第2四半期（2024年7月1日から2024年9月30日）の業績は、前年同期と比較して増収増益となりました。なお、当初予算に対しても増収増益となりました。

当第2四半期累計期間においては、資材原価の高止まりや断続的な物価の上昇に加え、住宅ローン金利の上昇懸念など経済社会の不安は継続しておりますが、私たちは、お客様満足度の向上に真剣に取り組み、お客様ニーズを捉え、お客様とともに歩んでまいりました。

「すべてはお客様のために」のスローガンのもと私たちができることを常に考えてまいります。

不動産・建設事業においては、前期より販売を予定していた完成現場の販売に注力し、実効性の高い販売戦略を強化することで、予定していた完成現場の販売が予想を上回る結果となりました。また、それに伴い更なる工程管理を徹底することを考え、第3四半期以降に予定していた現場の販売もでき、さらに予想を上回る結果となりました。耐震性能に加え、制震性能も有した安全性の高い建物や太陽光パネルや蓄電池の設置を推進し、クリーンエネルギーの利用をすることで環境にも配慮した建物についても対応し、お客様満足度の向上に努めてまいりました。更なるサービス・品質の向上を目指してまいります。

不動産賃貸事業においては、引き続き、新規オーナー様の獲得と既存オーナー様の入居様ニーズを捉えた提案をスピーディーに行い、安定した入居者の確保を実現し、また、アライアンスの強化も実施してまいりました。安定的に高い入居率を実現するための施策を検討・提案してまいりたいと考えています。

土地有効活用事業においては、資材原価の高騰により想定利回りを圧迫し、オーナー様への提案にも不安があることを踏まえ、徹底した原価管理と入居者様のニーズなど不動産賃貸事業とのシナジー効果を活かし、デザイン性や機能性の高い商品を提案し、安定的な利回りを提案することでオーナー様の獲得に努めてまいりました。また、不動産・建設事業、不動産賃貸事業のセグメントの特性を活かし、フレキシブルな戦略を実現してまいりました。安定した収益性の確保を最重要課題と考え、お客様ニーズに応えられるように努力してまいります。

ホテル事業につきましては、大地震の警戒宣言など災害への懸念により、観光客が減少したため業績は少し低下しましたが、円安などの影響を受け、訪日外国人が増加し、国内旅行者も増加したことで、事業運営は安定・回復しております。

私たちは、お客様ファーストの基本に立ち返り、既存事業の深耕と同時に様々なビジネスチャンスを検討し、安定的かつ成長性のある事業基盤の構築を目指しております。また、社会情勢や環境課題に関するリスクについても管理することで経営基盤の強化に努めてまいります。地域社会とともに成長し、貢献できる企業を目指し、従業員が一丸となって力を合わせ、お客様満足度の向上に努めてまいりますので、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



アズマハウスは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

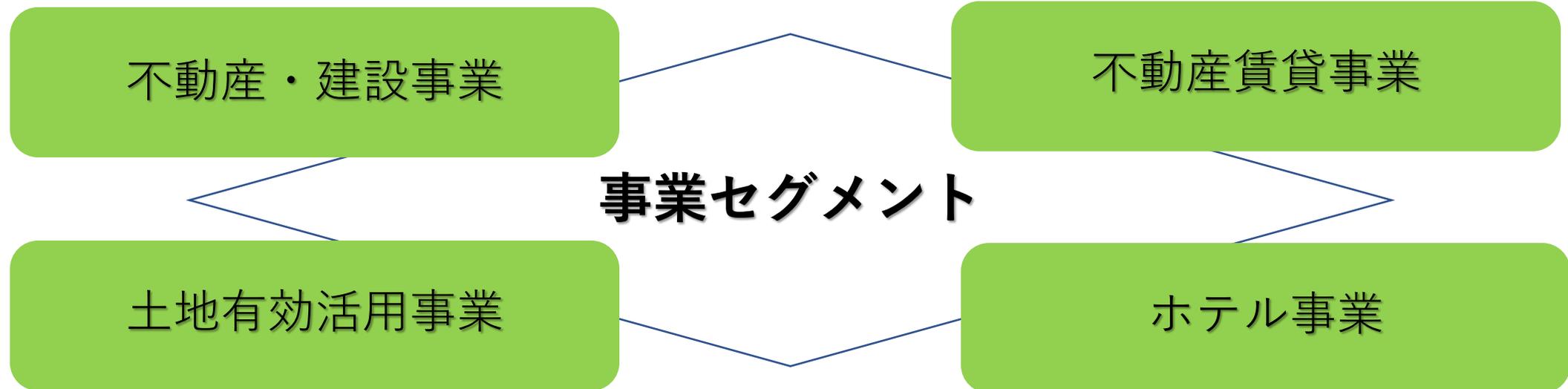
事業概要

～経営理念～

私たちアズマハウスは、全ての分野において「より大切に、より迅速に、すべてはお客様のために」をモットーに、商品の品質・性能・お客様への対応・サービスの向上は無限と考え、徹底してこだわり、お客様満足を徹底的に追及していく所存であります。

～サステナビリティ基本方針～

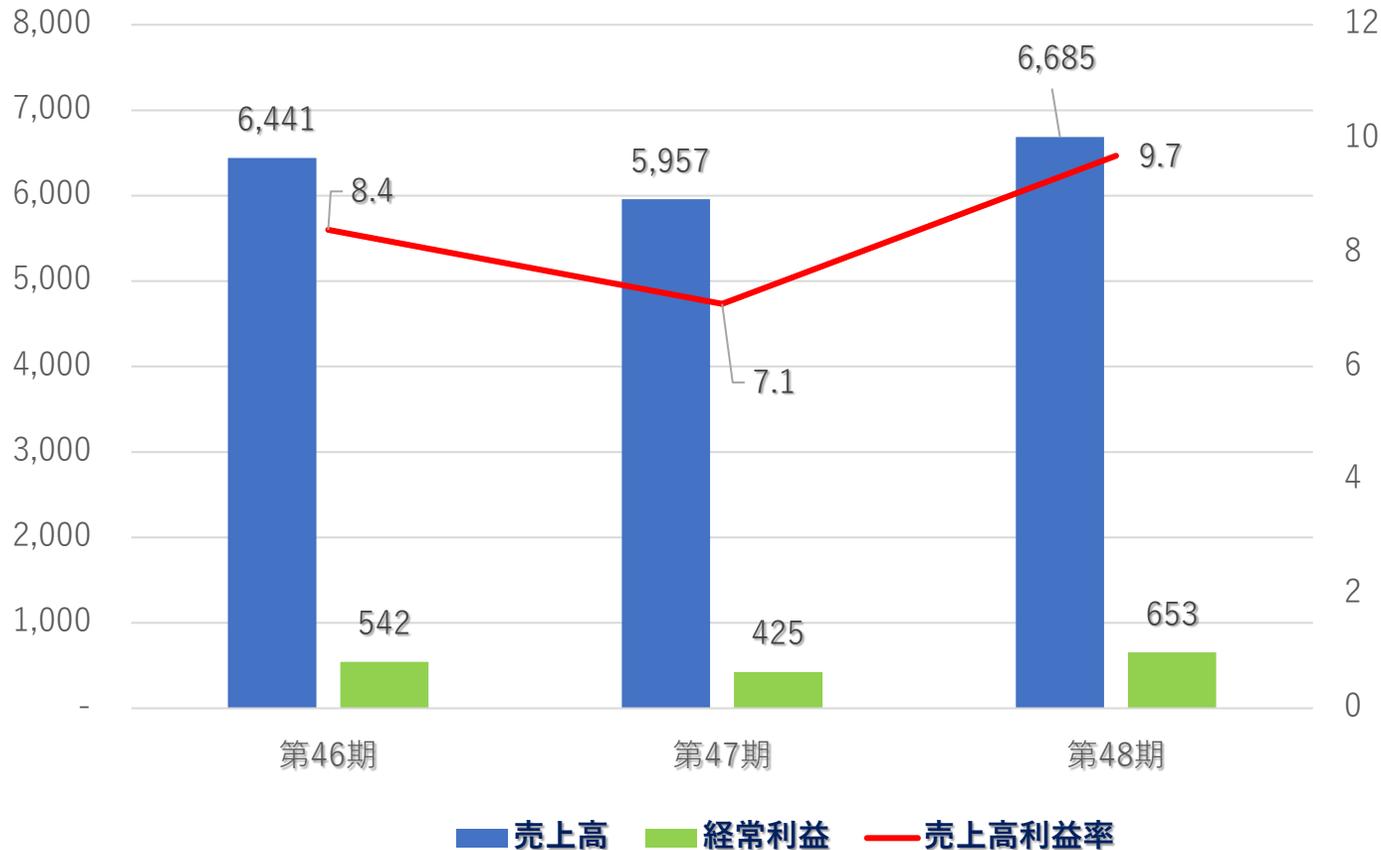
「人も環境も健康に」



連結決算（サマリー）

売上高・経常利益・売上高利益率の推移

（単位：百万円）



第48期売上目標 13,300百万円

第48期経常利益目標 1,070百万円

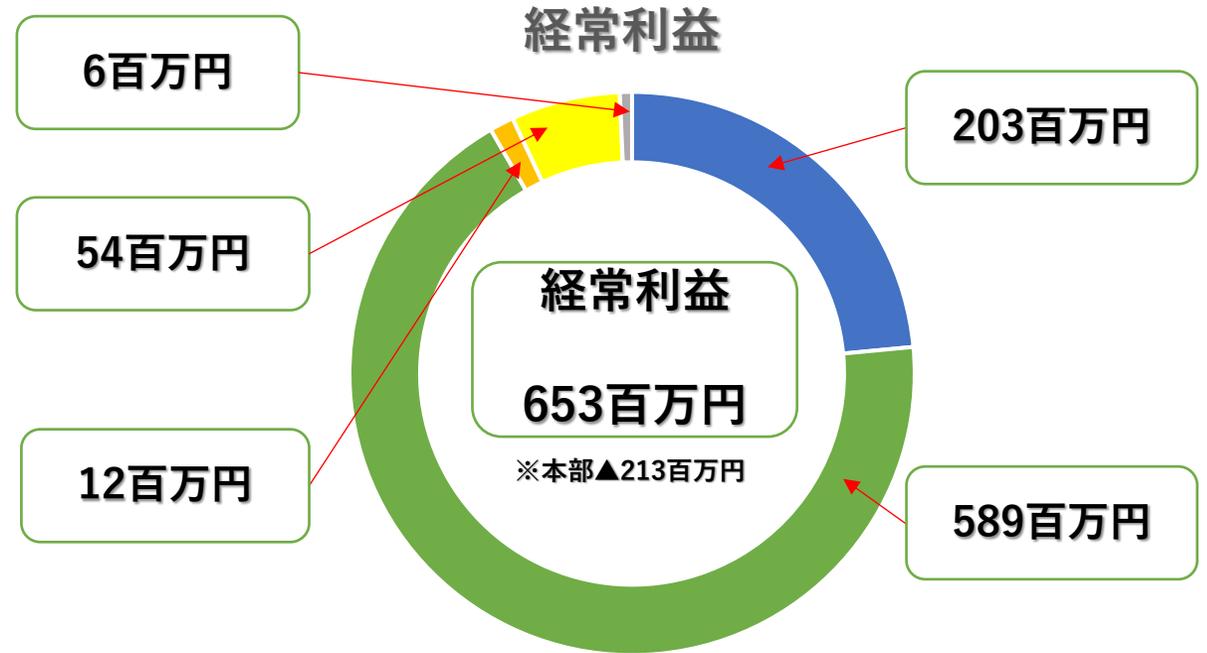
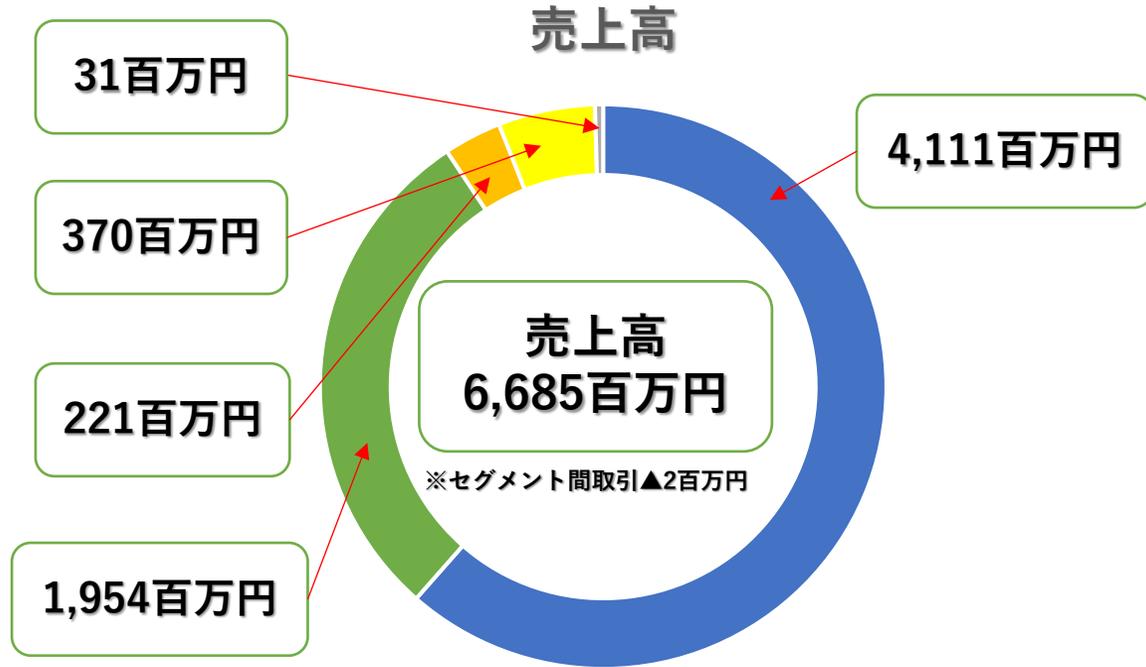
売上高 6,685百万円
（予算比117.2%）

経常利益 653百万円
（予算比163.25%）

売上高利益率
9.7%
（目標8.0%）

連結決算（セグメント比）

※セグメント売上及び利益は、セグメント間取引を含んでいます。



- 不動産建設事業
- 不動産賃貸事業
- 土地有効活用事業
- ホテル事業
- その他

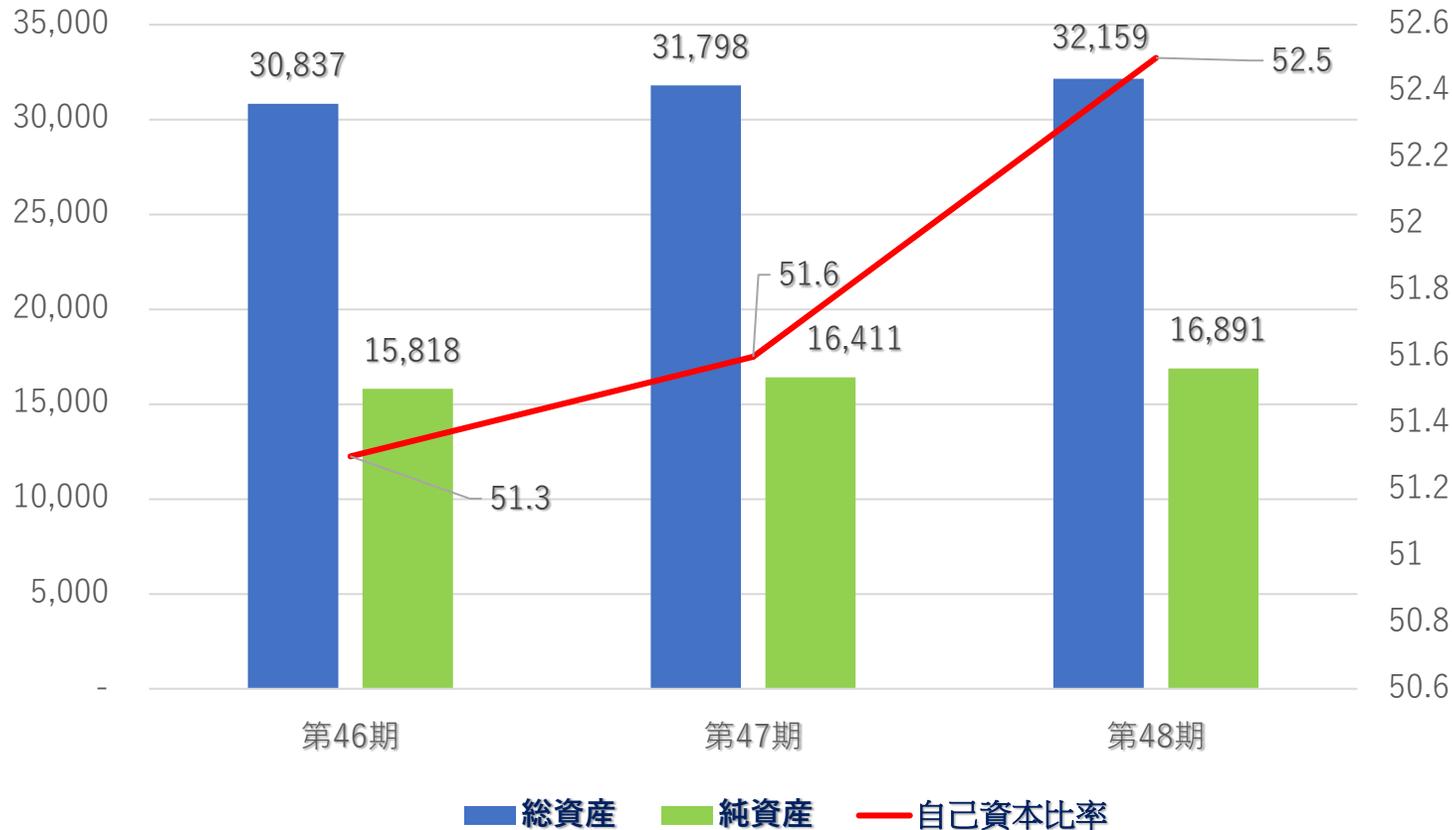
- 不動産建設事業
- 不動産賃貸事業
- 土地有効活用事業
- ホテル事業
- その他

※本部は、セグメントに帰属しない人件費及び管理部門の一般管理費です。

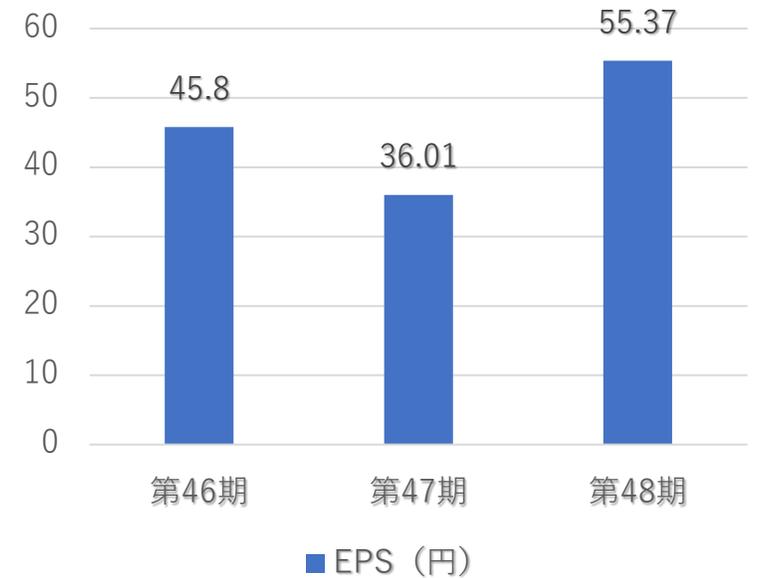
連結決算（サマリー）

総資産・純資産・自己資本比率の推移

（単位：百万円）

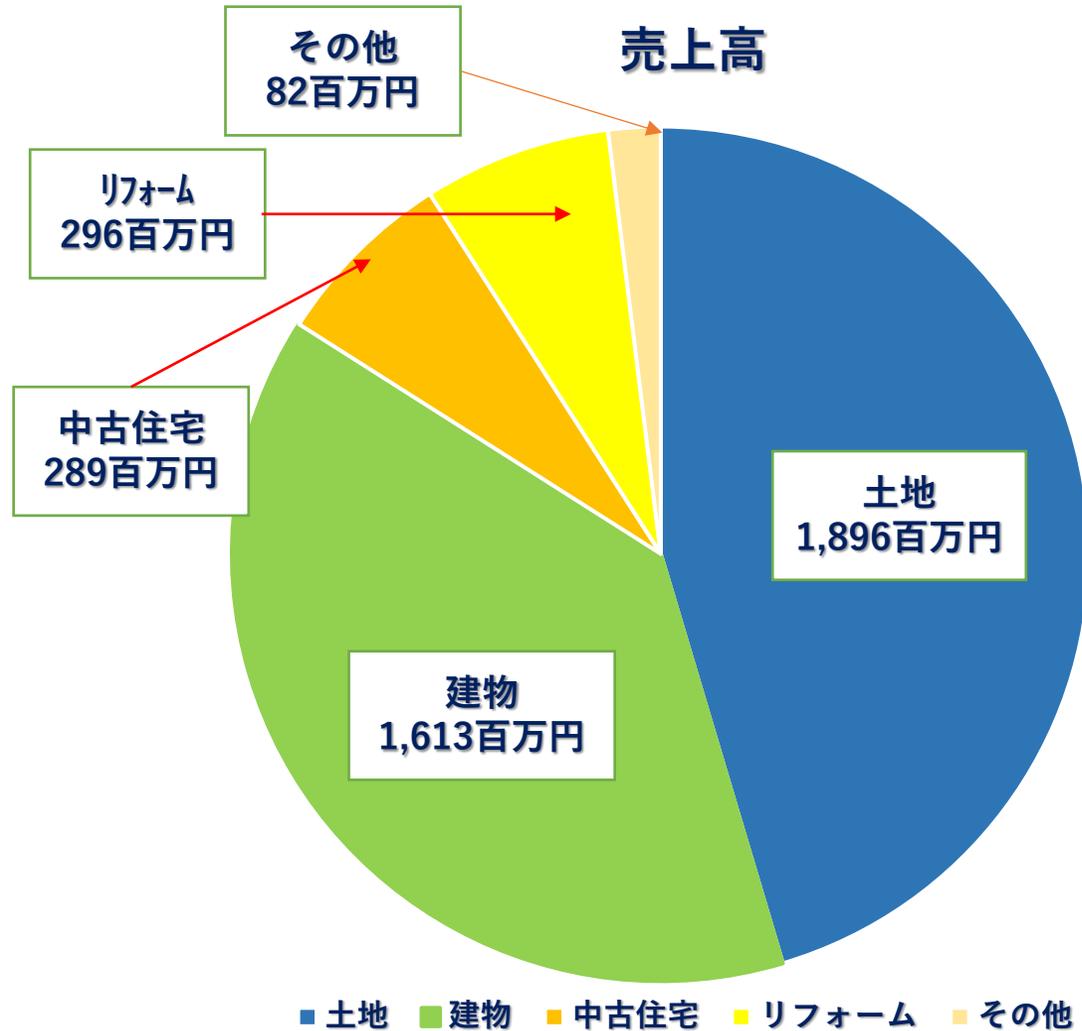


1株当たりの純利益（EPS）



当社は、2022年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。

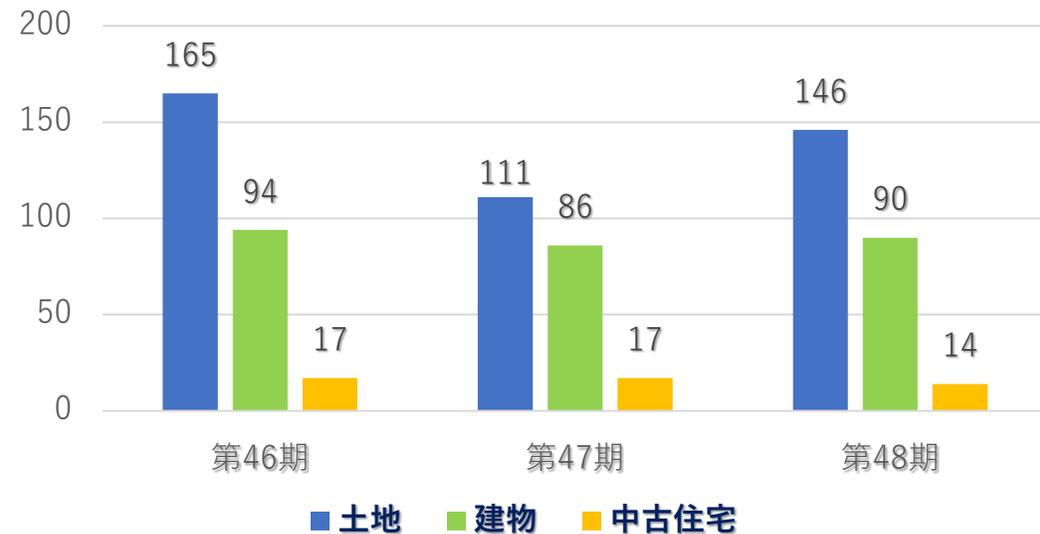
セグメント別実績（不動産・建設事業）



セグメント売上高 4,111百万円
 (前年同期比122.0%：予算比128.4%)

セグメント利益 203百万円
 (前年同期は3百万円：予算比1561.5%)

売上件数推移

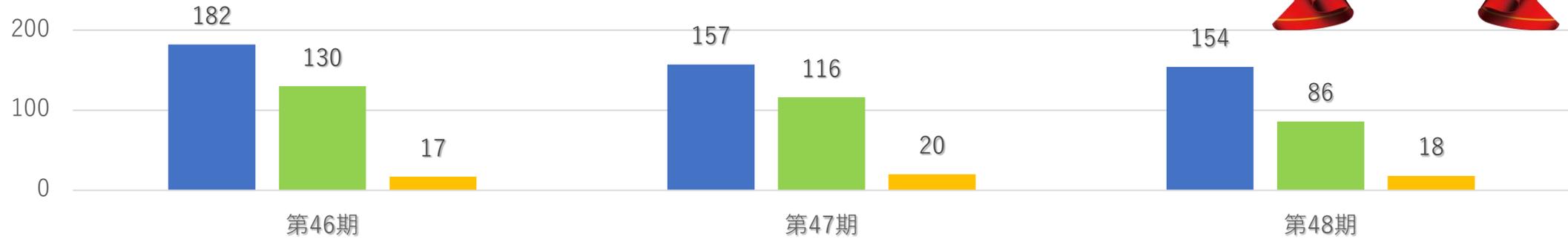


セグメント別実績（不動産・建設事業）

受注件数・受注残件数推移

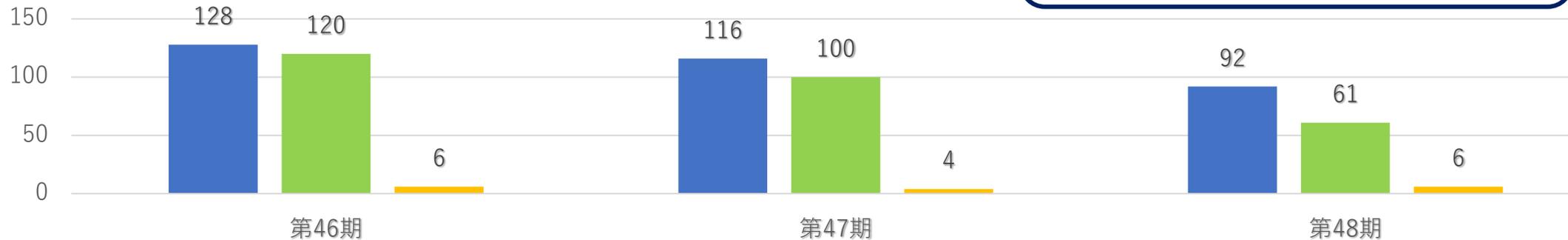


受注件数の推移



■ 土地 ■ 建物 ■ 中古住宅

受注残件数の推移



■ 土地 ■ 建物 ■ 中古住宅

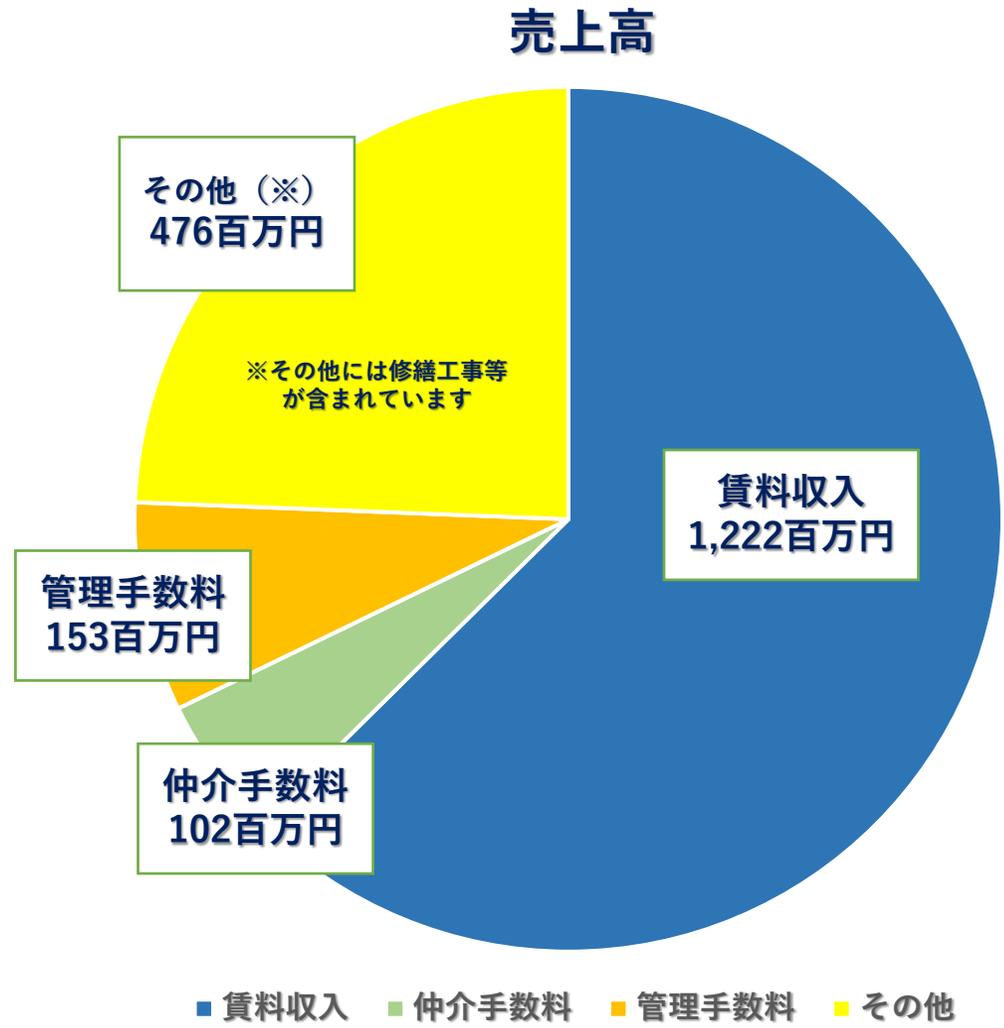
受注残額は、前年比76.1%

セグメント別実績（不動産賃貸事業）

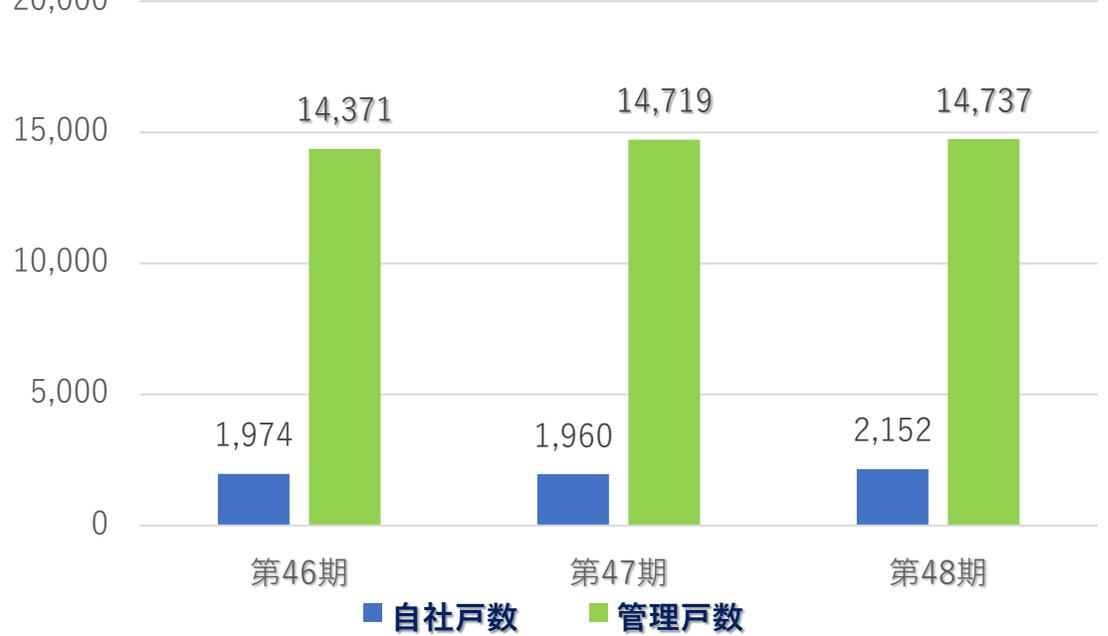
自社入居率 95.57%

セグメント売上高 1,954百万円
 (前年同期比108.4%：予算比104.3%)

セグメント利益 589百万円
 (前年同期比122.2%：予算比106.8%)

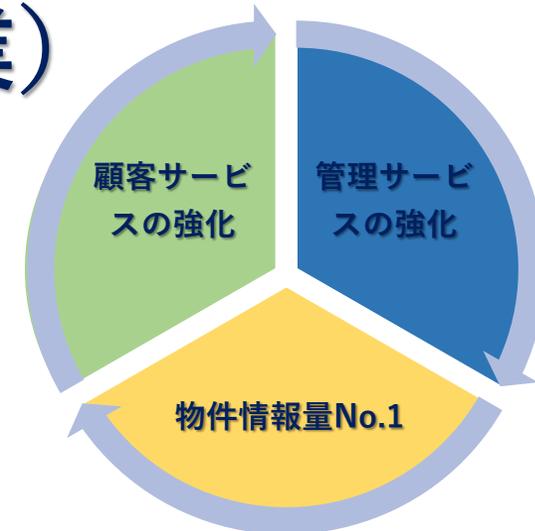
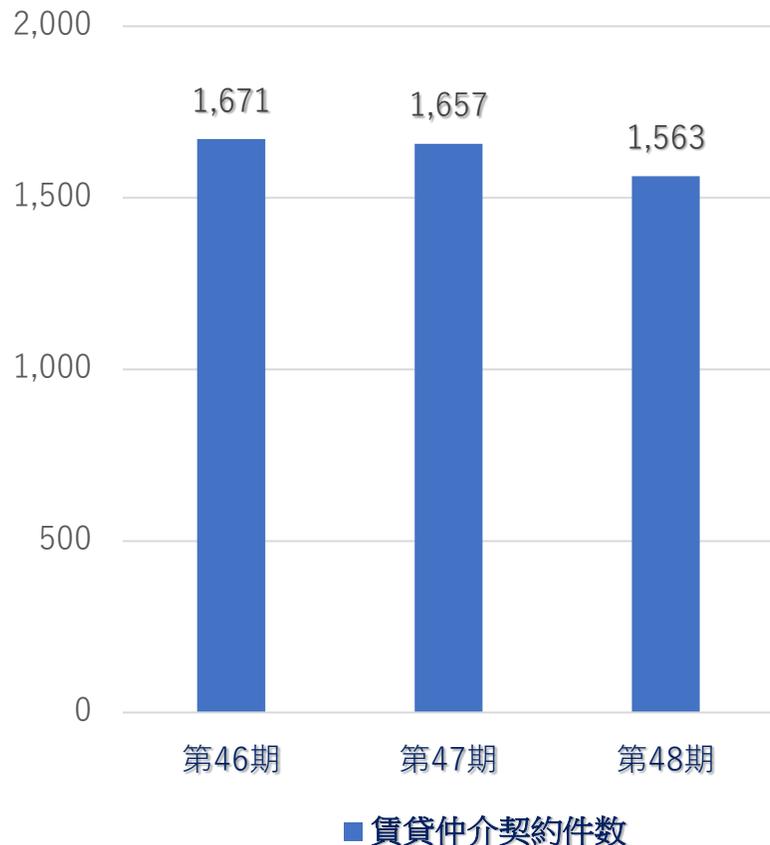


自社戸数及び管理戸数の推移



セグメント別実績（不動産賃貸事業）

賃貸仲介契約件数の推移



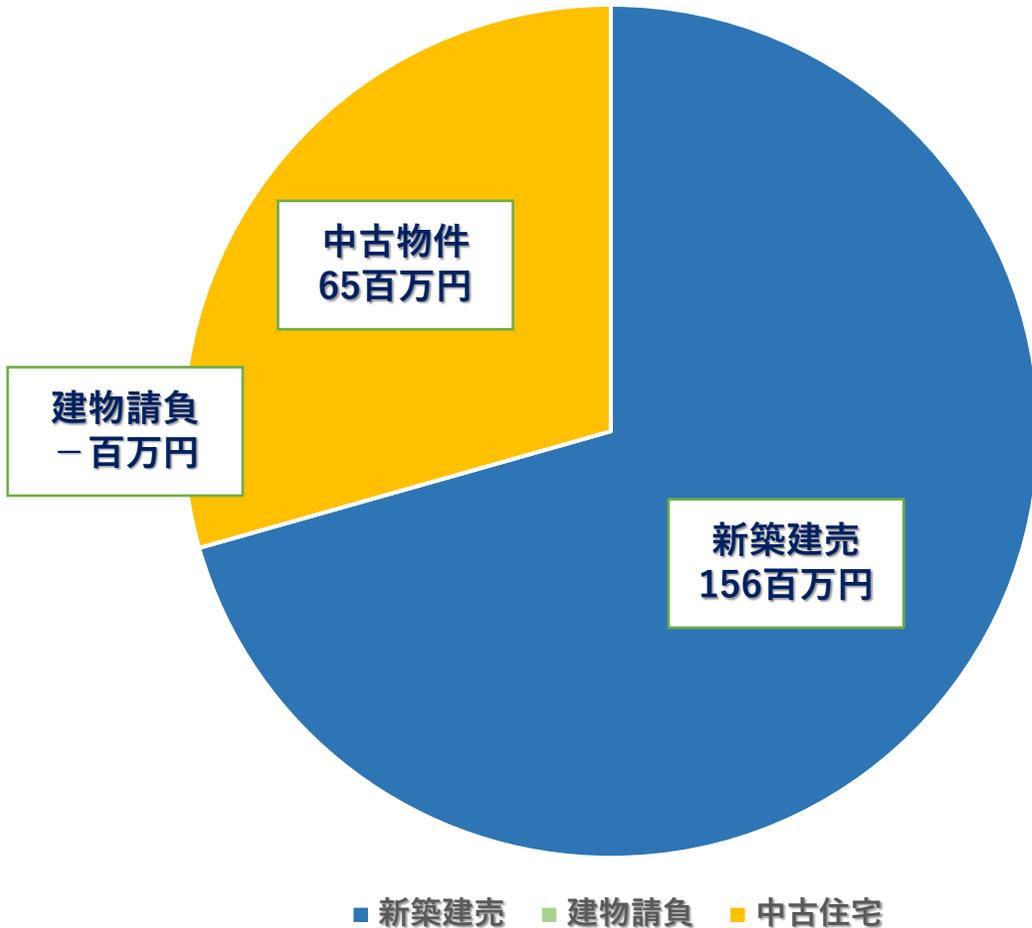
管理物件入居率
85.79%

Alliance Information

和歌山県職員労働組合/和歌山市職員互助会/和歌山県農協連専属提携/和歌山大学生協専属提携/県立医科大学生協専属提携/近畿大学生物理工学部指定/高野山大学専属指定/和歌山信愛大学専属指定/東京医療保険大学和歌山看護学部専属指定/和歌山信愛女子短期大学専属指定/宝塚医療大学和歌山保健医療学部/和歌山リハビリテーション専門職大学/県立高等看護学院/大原学園和歌山校/和歌山コンピュータービジネス専門学校/和歌山国際厚生学院/和歌山英数学館/和歌山YMCA国際福祉専門学校/和歌山口頭美容専門学校/IBW美容専門学校（順不同）

セグメント別実績（土地有効活用事業）

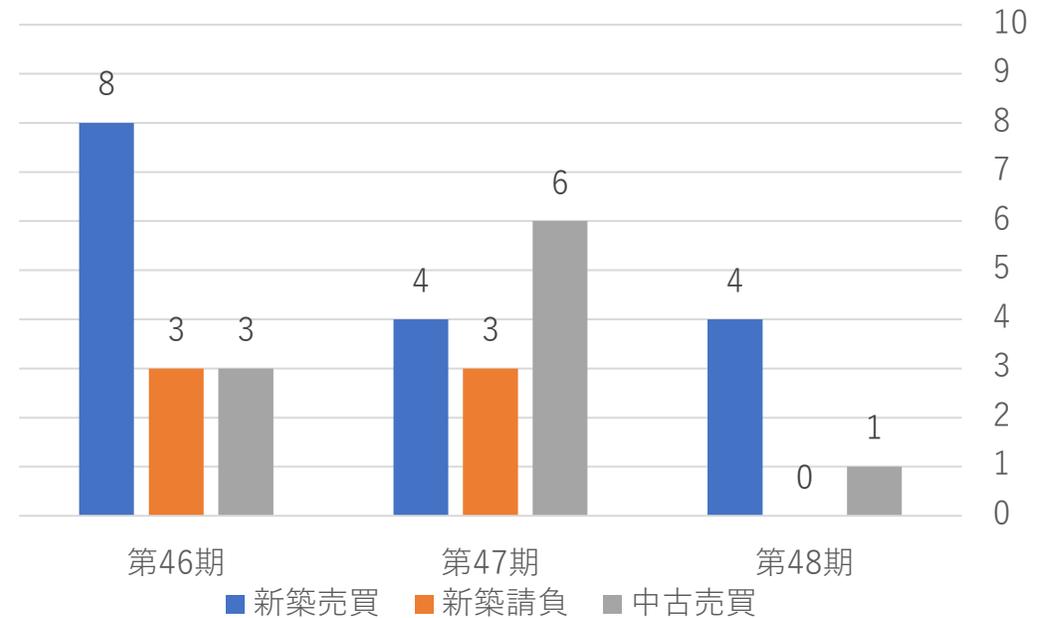
売上高・売上件数
売上高



セグメント売上高 221百万円
(前年同期比59.7%：予算比101.5%)

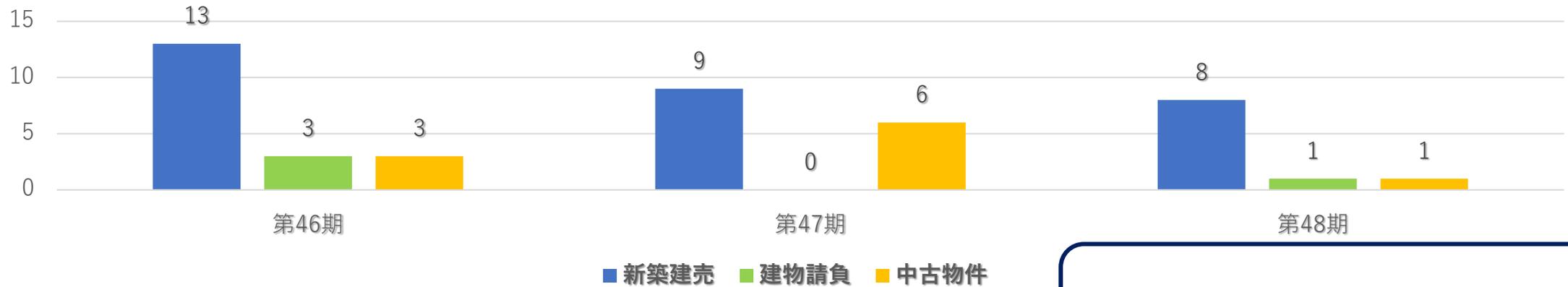
セグメント利益 12百万円
(前年同期比30.4%：予算比115.9%)

売上件数推移



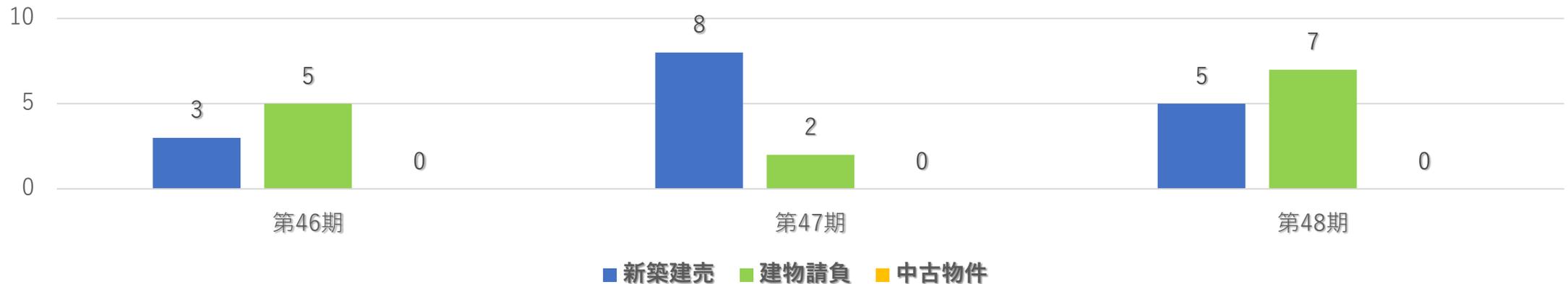
セグメント別実績（土地有効活用事業）

受注件数の推移

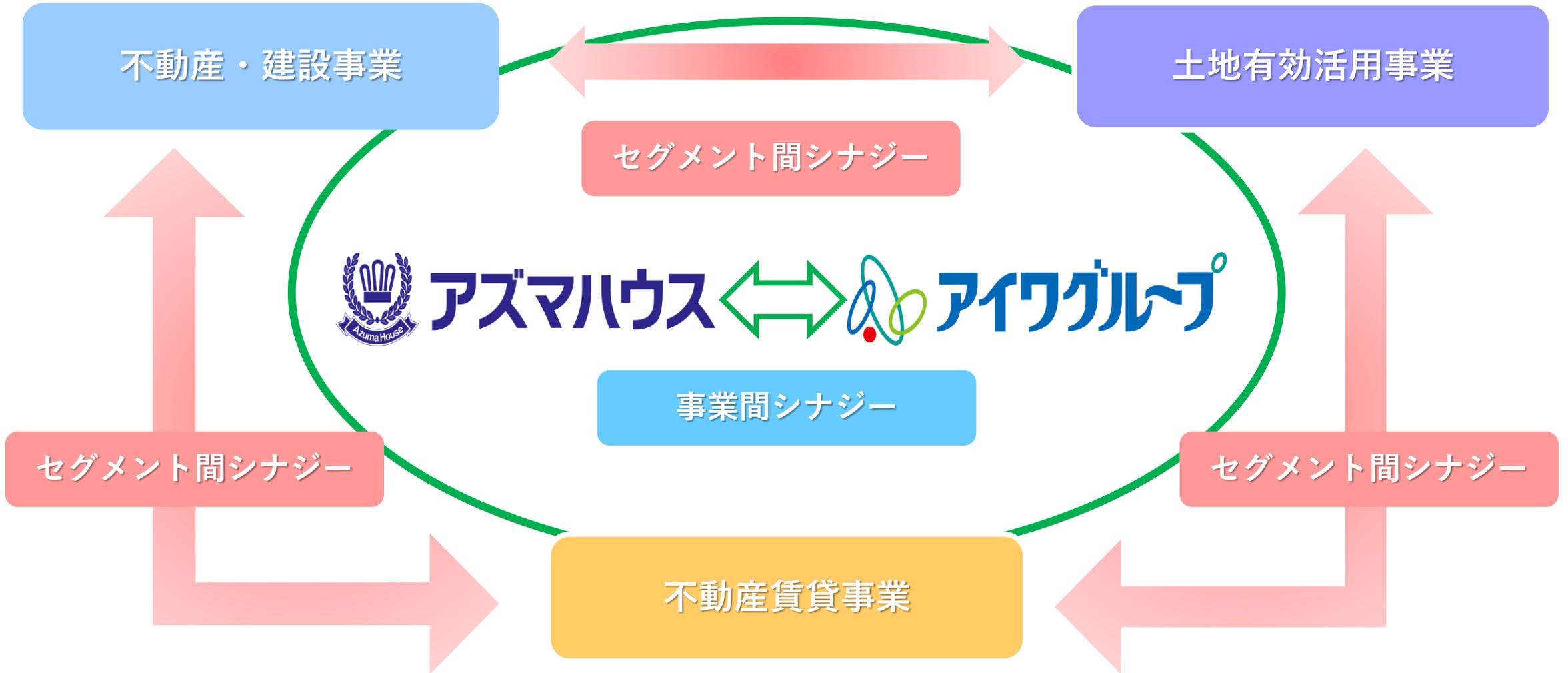


受注残額は、前年比116.6%

受注残件数の推移



セグメント間シナジー



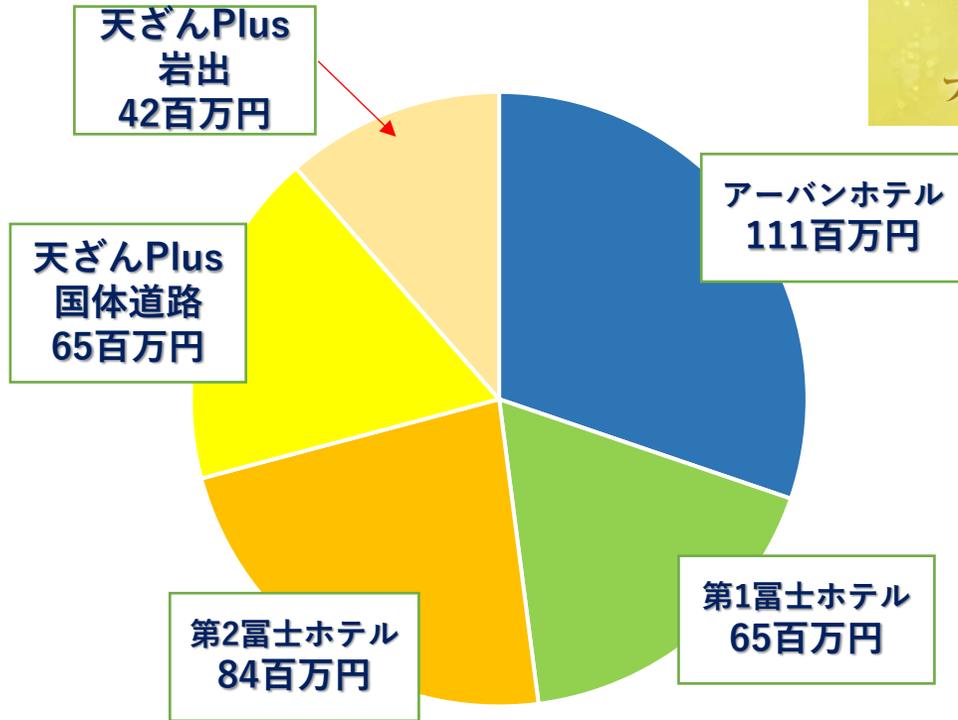
セグメント別実績（ホテル事業）

セグメント売上高 370百万円
 （前年同期比98.5%：予算比98.1%）

セグメント利益 54百万円
 （前年同期比90.3%：予算比104.8%）

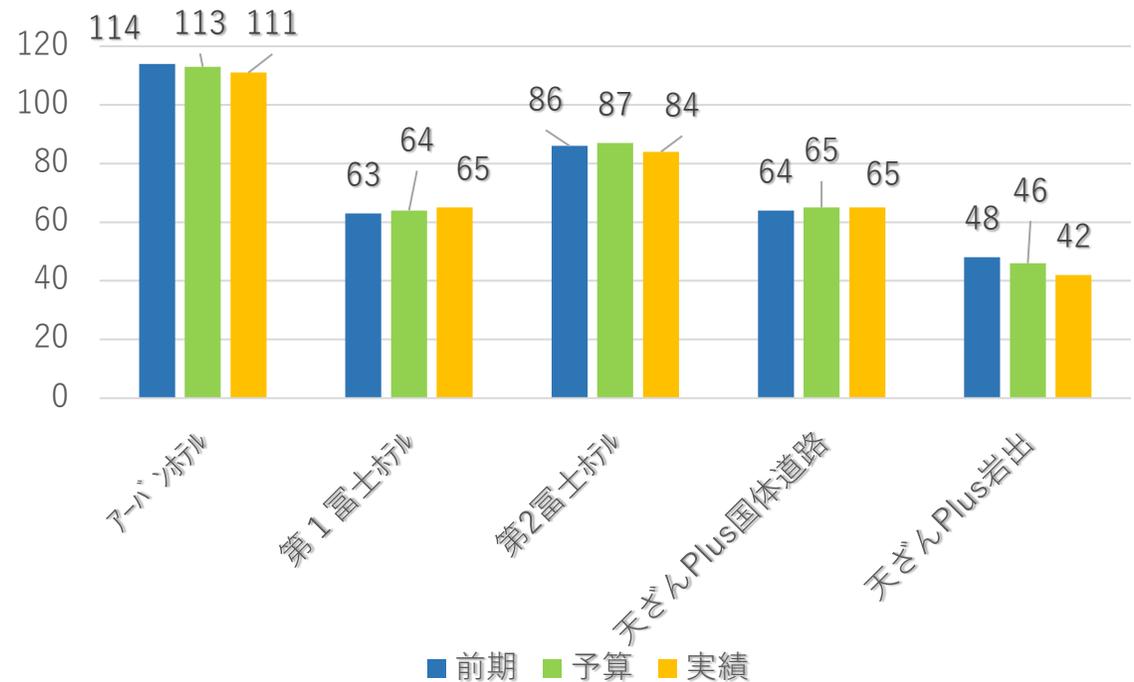


売上高



- アーバンホテル ■ 第1富士ホテル ■ 第2富士ホテル
- 天ざんPlus国体道路 ■ 天ざんPlus岩出

前年同期・予算比較（単位：百万円）



ESG	マテリアリティ	取組テーマ	取組内容	SDGs
 <p>Environment</p>	<p>住み続けられるまちづくり</p> <p>住環境の向上</p>	<p>リノベーションによる長く住み続けられる家づくりを通じて、社会課題となっている空き家増加の解決に取り組み、住み続けられるまちづくりに貢献</p> <p>高水準な性能等級を有する住宅の建築やリノベーションなどによる性能向上を通じて住宅の耐震性能、省エネ性能、断熱性能を向上し、環境にも健康にもやさしく、長く住み続けられる家づくりを実践</p>	<p>中古住宅再生事業、ストック事業の推進</p> <p>耐震等級3レベルを実現した地震に強い家づくり、環境にやさしい太陽光発電の販売促進、断熱性向上によるヒートショック等の健康被害防止</p>	
 <p>Social</p>	<p>地域社会への貢献</p>	<p>地域社会の活性化に関連するイベントなどを通じ、雇用の促進や青少年育成のための支援活動を積極的に取り組み、持続的な地域社会の構築に貢献</p> 	<p>こども食堂の運営、学童軟式野球大会の特別協賛、全日本ドッジボール選手権和歌山県大会の特別協賛、一般社団法人和歌山県サッカー協会オフィシャルスポンサー、アルテリーヴォ和歌山への応援、日本赤十字社の活動支援、特定非営利活動法人国連UNHCRの活動支援、公益社団法人ユニセフの活動支援、パートナーシップ構築宣言、宇宙事業及び宇宙教育活動への支援、ドリームデイ・アット・ザ・ズー2024inアドベンチャーワールドの協賛、和歌山大学ソーラーカープロジェクト（BWSC2025）への支援</p>	
 <p>Governance</p>	<p>人権</p>	<p>ハラスメント禁止や働き方改革の実践により生産性向上を図りながら働きやすい職場環境づくりの取り組み</p> 	<p>「わかやま健康づくりチャレンジ運動」への参加、「健康経営優良法人2024（中小規模法人）」の認定、「あいサポート企業」の認定、男性・女性社員にかかわらず育児休業を取得できる体制づくりと推奨、小学校就学前の子を養育する社員の時間短縮勤務、半日単位での有給休暇制度の整備、一般事業主行動計画の策定、コーポレートガバナンス、コンプライアンス</p>	

記載情報について

- ・本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- ・本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
- ・将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識されたうえで、ご利用下さい。
- ・本資料は、投資家の皆様がいかなる目的に利用される場合においても、お客様自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

本資料に関するお問い合わせ
アズマハウス株式会社 経営企画部
電話 073-475-1018
E-Mail : ir_kanri@azumahouse.jp
URL : <https://azumahouse.com>